

Garoon 5.x
カスタムアプリ連携ガイド
第4.2版

本書の取り扱いについて

- この文書内における掲載情報の二次利用においては、ご自身の判断と責任の下に行ってください。

サイボウズ株式会社は、それらの情報をご利用になることにより発生したあらゆる商業的損害・損失を含め一切の直接的、間接的、特殊的、付随的または結果的損失、損害について責任を負いません。

また、本文書を二次利用し作成した文書には、次のような当社の著作権表示文を記載してください。

「本文書は、サイボウズ株式会社による『Garoon 5.x カスタムアプリ連携ガイド』を一部引用しています。」

商標について

- 記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。また、当社製品には他社の著作物が含まれていることがあります。

個別の商標・著作物に関する注記については、弊社のWebサイトを参照してください。

<https://cybozu.co.jp/logotypes/other-trademark/>

なお、本文および図表中では、(TM)マーク、(R)マークは明記していません。

目次

1 章 カスタムアプリ連携とは？	5
2 章 カスタムアプリ連携の作業の流れ	7
3 章 Step1：カスタムアプリ連携に必要な条件を確認する	8
3.1. カスタムアプリ連携が可能な環境の組み合わせ	9
4 章 Step2：サイボウズ Office連携が使用可能かどうかを確認する	12
5 章 Step3：ユーザー情報の同期が必要かどうかを確認する	13
6 章 Step4-A：ユーザー情報を同期する場合	15
6.1. 【1】 ユーザー情報を同期する前に確認すること	15
6.2. 【2】 オープン統合認証 ver.2を設定する	20
6.3. 【3】 サイボウズ Office連携を有効にする	22
6.4. 【4】 ユーザー情報の自動同期を設定する	23
6.5. 【5】 ユーザー情報を手動で同期する	25
6.6. 【6】 同期後の動作確認をする	26
7 章 Step4-B：ユーザー情報を同期しない場合	30
7.1. 【1】 サイボウズ Officeで、運用に必要な設定をする	30
7.2. 【2】 オープン統合認証 Ver.2を設定する	30
8 章 Step5：連携するアプリを準備する	32
9 章 Step6：「ガルーンとの連携」を有効にする	34
10 章 Step7：カスタムアプリのポートレットを準備する	37
11 章 Step8：ポートレットをポータルに配置する	40
12 章 ユーザー情報を同期済みのデチエを、サイボウズ Officeにバージョンアップする場合	43
13 章 「ガルーンとの連携」の仕様	48
13.1. 連携を有効にしても変わらないこと	48
13.2. 連携の有効/無効による挙動の違い	48
14 章 カスタムアプリのポートレットについて	51
14.1. 「カスタムアプリ最新情報」ポートレットの記述例	52
14.2. 「カスタムアプリ（レコード一覧）」ポートレットの記述例	54
14.3. 「カスタムアプリ（集計表示）」ポートレットの記述例	57
15 章 コマンドラインでユーザー情報を同期する	61
15.1. Windowsの場合	61
15.2. Linuxの場合	63

16 章 ログ.....	65
16.1. カスタムアプリ連携の設定に伴うログ	65
16.2. アプリログ	68
17 章 エラーメッセージ	70
17.1. Garoonの画面に表示されるエラーメッセージ.....	70
17.2. サイボウズ Officeのポートレット内に表示されるエラーメッセージ.....	72

1 章 カスタムアプリ連携とは？

このマニュアルでは、次の製品を連携する場合に必要な設定や操作を説明しています。

- バージョン 5.xのパッケージ版 Garoon
- バージョン 10.8.0以降のサイボウズ Officeの「カスタムアプリ」

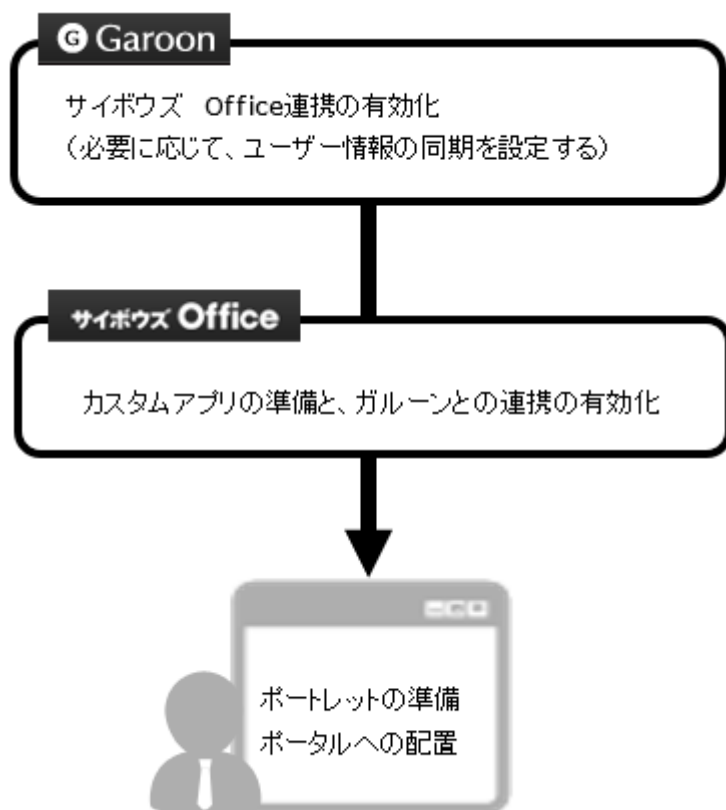
カスタムアプリ連携は、Garoonとサイボウズ Officeの「カスタムアプリ」の連携を指します。

Garoonとサイボウズ Officeの両方がパッケージ版である場合にのみ利用できます。

カスタムアプリ連携の設定を完了するには、おおまかに3つの作業が必要です。

- Garoon側で、「サイボウズ Office連携」を有効にする
- サイボウズ Office側で、カスタムアプリを準備し、「ガルーンとの連携」を有効にする
- Garoon側で、カスタムアプリのポートレットを準備し、ポータルに配置する

■ カスタムアプリ連携の作業イメージ



■ Garoonのポータルにカスタムアプリのポートレットを配置した例



a)：アプリの通知や、自分が担当するレコード件数を表示するポートレットです。

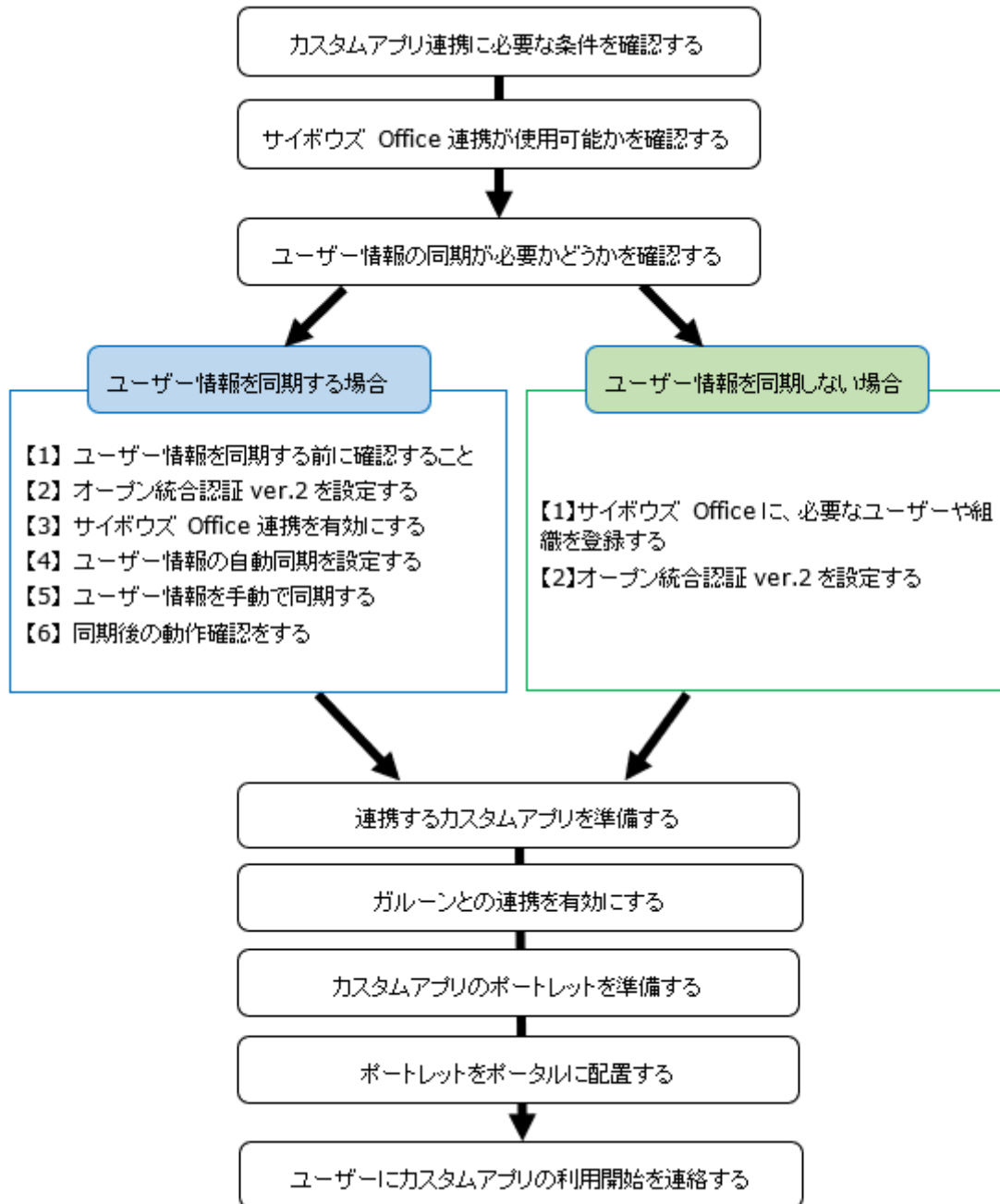
b)：指定したアプリのレコード一覧を表示するポートレットです。

注意

- 管理者が信頼できる接続先を設定するようにしてください。
- 管理者が信頼できる接続先であったとしても、意図しない第三者がGaroonを通じて、その接続先にアクセスできてしまう可能性があります。
安全に運用できるよう、Garoonの設定と接続先の設計には十分注意してください。
- 弊社では、お客様がGaroonの設定をすることによって発生した一切の損害について責任を負いません。お客様の判断と責任の下で利用してください。
詳細については、使用許諾契約書を参照してください。
<https://cybozu.co.jp/products/admission/>
- サイボウズ Officeは日本語のみに対応しています。このため、ユーザーの表示言語の設定にかかわらず、カスタムアプリの画面は日本語で表示されます。
- Garoonのタイムゾーンの設定は、カスタムアプリには適用されません。

2 章 カスタムアプリ連携の作業の流れ

カスタムアプリ連携の作業は、ユーザー情報を同期するかどうかによって、手順数が異なります。



3 章 Step1：カスタムアプリ連携に必要な条件を確認する

カスタムアプリ連携を設定するには、Garoonとサイボウズ Officeで、次のすべての条件を満たす必要があります。

条件	補足
両製品がパッケージ版である。	
Garoonが、バージョン 5.0.0以降である。	Garoonは、Windows版とLinux版の両方とも、カスタムアプリ連携に対応しています。
サイボウズ OfficeがWindows版であり、かつ、バージョン 10.8.0以降である。	Linux版は、カスタムアプリ連携に対応していません。
サイボウズ Officeのみ： WebサーバーにIISを利用している。	Windows版のApacheは、カスタムアプリ連携に対応していません。
• ユーザー情報を同期する場合： サイボウズ Officeが未使用の状態である。 または Garoonとユーザー情報を同期済みのデジエを、サイボウズ Officeにバージョンアップする。 • ユーザー情報を同期しない場合： サイボウズ Officeが未使用でも運用中でも、どちらでも可能。	詳細は、 カスタムアプリ連携が可能な環境の組み合わせ(9ページ) を参照してください。
両製品で、必要なライセンスがある。	• Garoon： 有効な継続サービスライセンスがある。 • サイボウズ Office： ライセンスがプレミアムコースであり、

条件	補足
	かつ、有効な継続サービスライセンスがある。
両製品をインストールしたサーバーが、互いにFQDN（完全修飾ドメイン名）で名前解決できる。	
両製品をインストールしたサーバーが、すべて同一のドメインに存在する。	
両製品で、「オープン統合認証 ver.2」を設定している。	ユーザー情報を同期する場合のみ、設定が必要です。

注意

- カスタムアプリ連携を設定する際、ユーザー数は、300人以下を推奨しています。300人を超えるユーザー数での運用をご検討の場合は、サイボウズ オフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。

[サイボウズのパートナーネットワーク](#)

3.1. カスタムアプリ連携が可能な環境の組み合わせ

前述の必要な条件を満たす場合、カスタムアプリ連携が可能な環境の組み合わせは、次のとおりです。

Garoon	サイボウズ Office	補足
新規インストール	新規インストール (Windows版のみ)	
運用中の環境	新規インストール (Windows版のみ)	
運用中の環境	運用中の環境	ただし、ユーザー情報の同期は不可
新規インストール	運用中の環境	ただし、ユーザー情報の同期は不可
運用中の環境	Garoonとユーザー情報を 同期済みのデチエを、サ イボウズ Officeにバー ジョンアップする環境	

注意

- サイボウズ Officeが運用中の場合、ユーザー情報の同期はできません。
サイボウズ Officeが運用中の環境で、ユーザー情報を同期すると、サイボウズ Officeに登録済みのユーザーや組織の情報が削除されたり、アクセス権や通知などの設定が削除されたりします。
詳細は、[Garoonとサイボウズ Officeの情報が異なる状態で同期した場合の影響\(18ページ\)](#)を参照してください。
- サイボウズ OfficeのLinux版は、カスタムアプリ連携に対応していません。
- Garoonは、Windows版とLinux版の両方とも、カスタムアプリ連携に対応しています。
新規インストールの場合は、インストール後にユーザーや組織など、運用に必要な設定をしてください。

補足

- Garoonやサイボウズ Officeのインストールや各種設定の手順は、次のページを参照してください。

[パッケージ版 Garoon ヘルプ](#)

[サイボウズ Office 10 マニュアル](#)

4 章 Step2：サイボウズ Office連携が使用可能かどうかを確認する

Garoonのアプリケーション一覧で、サイボウズ Office連携の状態が使用可能かどうかを確認します。

操作手順：

1. システム管理者で、Garoonのシステム管理画面にアクセスします。

詳細は、『パッケージ版 Garoon ヘルプ』の[管理画面へのアクセス](#)を参照してください。

2. 「基本システムの管理」タブを選択します。

3. [アプリケーション]をクリックします。

4. [アプリケーション一覧]をクリックします。

5. 「アプリケーションの一覧」画面で、「dezielink」の使用欄が「使用停止」と表示されていることを確認します。

「使用開始」と表示されている場合は、「使用開始」をクリックします。

アプリケーション一覧					
アプリケーションごとに使用を許可、または名称を変更します。					
アプリケーションID	使用	名称	機能	プレビュー	再初期化
portal	使用停止	 ポータル	ポータル	プレビュー	再初期化
space	使用停止	 スペース	スペース	プレビュー	再初期化
favour	使用停止	 いいね！	リアクション		再初期化
dezielink	使用停止		サイボウズ Office / デジタル連携		再初期化

・使用欄の見かた：

- 使用中の状態であれば、「使用停止」と表示されます。
- 使用停止の状態であれば、「使用開始」と表示されます。

5 章 Step3：ユーザー情報の同期が必要かどうかを確認する

ユーザー情報の同期は、サイボウズ Officeの運用開始前に設定する必要があります。

準備したGaroonとサイボウズ Officeをどのように運用するかを確認し、ユーザー情報の同期の必要性を判断してください。

ユーザー情報の同期とは？

ユーザー情報の同期は、Garoonとサイボウズ Officeで、ユーザーや組織のデータを同期することを指します。

ユーザー情報を同期すると、Garoon側のユーザーや組織のデータがマスターデータとして扱われ、サイボウズ Officeに反映されます。

サイボウズ Office側でデータを書き換えても、次回の同期時にGaroon側のデータで上書きされます。

サイボウズ Officeではユーザーは管理せず、カスタムアプリのみ使用する、といった運用をする場合は、ユーザー情報を同期することを推奨します。

ユーザー情報の同期の必要性の目安

ユーザーや組織情報をどのように管理するかによって、ユーザー情報の同期の必要性が異なります。

■ Garoon側でユーザーや組織を一括管理する場合

カスタムアプリ連携には、次の4つの設定が必要です。

- サイボウズ Office連携の設定
- ユーザー情報を同期するタイミングの設定
- ガルーンとの連携の設定
- Garoonのポータルにカスタムアプリのポートレットの配置

■ Garoonとサイボウズ Officeで別々にユーザーや組織を管理する場合

カスタムアプリ連携には、次の3つの設定をします。

- サイボウズ Office連携の設定
- ガルーンとの連携の設定
- Garoonのポータルにカスタムアプリのポートレットの配置

6 章 Step4-A：ユーザー情報を同期する場合

Garoonとサイボウズ Officeでユーザー情報を同期する手順や注意事項などを説明します。

ユーザー情報を同期しない場合は、Step4-Aは不要です。Step4-Bに進みます。

[Step4-B：ユーザー情報を同期しない場合\(30ページ\)](#)を参照してください。

6.1. 【1】 ユーザー情報を同期する前に確認すること

ユーザー情報の同期は、初回だけに限らず、ユーザーや組織の情報に変更が入るたびに、再度データを同期する必要があります。

同期するタイミングが初回か、2回目以降かで、気を付けることは異なります。

ユーザー情報を同期する前に、下記の制限事項や注意点を確認してください。

補足

- ユーザー情報の同期漏れを防げるよう、Garoonで自動同期のタイミングを設定できます。詳細は、[【4】ユーザー情報の自動同期を設定する\(23ページ\)](#)方法を参照してください。

同期に関する制限事項

Garoonとサイボウズ Officeのユーザー情報の同期には、次の制限事項があります。

- GaroonのAdministratorは、サイボウズ Officeに追加されません。
- ユーザー情報を同期しても、ユーザーのパスワードは手動で設定する必要があります。ユーザーのパスワードは同期されません。

- サイボウズ Office側でユーザーや組織のデータを書き換えても、次回の同期時にGaroon側のデータで上書きされます。
- 同期すると、Garoonの組織の組織コードが、サイボウズ Officeの組織に付与されます。サイボウズ Office側の組織コードは、「組織の変更」画面でのみ確認できます。（サイボウズ Officeではグループコードと表示されます。）
- Garoon側に削除対象のユーザーがいる状態でユーザー情報を同期した場合、同期後にGaroonで削除対象のユーザーを復旧しても、サイボウズ Officeには自動的に反映されません。再度、ユーザー情報を同期する必要があります。
- Garoonのユーザー名の英語表記やローカライズに関する情報は、サイボウズ Officeに同期されません。

初回の同期で注意すること

初回の同期では、Garoonのデータが、サイボウズ Officeに反映されます。

ただし、ユーザーのパスワードは同期されません。

同期後に、管理者が手動で、サイボウズ Office側のユーザーのパスワードを設定する必要があります。

詳細は、『サイボウズ Office 10 マニュアル』の[ログイン名やパスワードを変更する](#)方法を参照してください。

その他の制限事項は、[同期に関する制限事項\(15ページ\)](#)を確認してください。

2回目以降の同期で注意すること

2回目以降のユーザー情報の同期は、Garoonとサイボウズ Officeでデータが同一であるかどうかによって、挙動が異なります。

ユーザー情報の場合

次のGaroonのユーザー情報が同期されます。

- ログイン名
- 名前
- E-mail
- 所属する組織

■ Garoonとサイボウズ Officeで、同じログイン名が設定されている場合

Garoonの情報を、サイボウズ Officeに反映します。

ユーザーのパスワードは同期されません。必要に応じて、サイボウズ Office側のパスワードを手動で変更します。

■ Garoonのみにログイン名が存在する場合

サイボウズ Officeに不足しているユーザーを、サイボウズ Officeに追加します。追加される情報は、Garoonの情報を使用します。

ユーザーのパスワードは同期されません。必要に応じて、サイボウズ Office側のパスワードを手動で変更します。

■ サイボウズ Officeのみにログイン名が存在する場合

Garoonに存在しないユーザーを、サイボウズ Officeから削除します。

組織情報の場合

次のGaroonの組織情報が同期されます。

- 組織名
- 組織コード
- 組織に所属するユーザー

■ Garoonとサイボウズ Officeで、同じ組織コードが設定されている場合

Garoonの情報を、サイボウズ Officeに反映します。

■ Garoonのみに組織コードが存在する場合

サイボウズ Officeに不足している組織（グループ）を、サイボウズ Officeに追加します。追加される情報は、Garoonの情報を使用します。

■ サイボウズ Officeのみに組織コードが存在する場合

Garoonに存在しない組織（グループ）を、サイボウズ Officeから削除します。

注意

- ユーザー情報の同期後にGaroonの組織コードを変更する場合は、サイボウズ Officeのグループコードをあわせて変更する必要があります。
Garoonのデータだけを変更していると、次の同期時にサイボウズ Officeのグループが削除されます。

Garoonとサイボウズ Officeの情報が異なる状態で同期した場合の影響

Garoonとサイボウズ Officeの情報が異なると、サイボウズ Office側で、ユーザーや組織の情報が削除されたり、アクセス権や通知などの設定が削除されたりします。
設定内容が異なる状態で同期した場合の影響は、次のとおりです。

ユーザーのログイン名が異なる場合

サイボウズ Officeへの影響	補足
Garoonのみに存在する場合： サイボウズ Officeに不足しているユーザーを追加します。	

サイボウズ Officeへの影響	補足
追加される情報は、Garoonの情報を使用します。	
サイボウズ Officeのみに存在する場合： Garoonに存在しないユーザーを、サイボウズ Officeから削除します。	削除されるユーザーに対する次の設定は解除されます。 ・システム管理者 ・サポート登録者 ・アプリの運用管理者 ・アクセス権 ・更新通知 ・最初に選択されるビュー ・「メニュー（ユーザー）」項目 ・ユーザーの個人設定の設定内容

ユーザーの名前が異なる場合

サイボウズ Officeへの影響	補足
Garoonの情報が、サイボウズ Officeに反映されます。 同期後にユーザーの名前が変更されると、同期前にユーザーの名前を利用して設定していた機能が正常に動作しない場合があります。	各アプリの次の機能で、ユーザーの名前を利用しています。 ・レコード登録者のアクセス権 ・レコード登録者へのメール通知 同期後にユーザー名が変更されている場合は、上記の設定を見直してください。

組織コード（Garoon）とグループコード（サイボウズ Office）が異なる場合

サイボウズ Officeへの影響	補足
Garoonのみに存在する場合： サイボウズ Officeに不足している組織（グループ）を追加します。 追加される情報は、Garoonの情報を使用します。	
サイボウズ Officeのみに存在する場合： Garoonに存在しない組織（グループ）を、サイボウズ Officeから削除します。	削除される組織（グループ）に対する次の設定は解除されます。 • システム管理者 • アプリの運用管理者 • アクセス権 • 更新通知 • 最初に選択されるビュー • 「メニュー（ユーザー）」項目

6.2. 【2】 オープン統合認証 ver.2を設定する

Garoonとサイボウズ Officeの両方に、オープン統合認証 ver.2を設定します。
次の項目は、Garoonとサイボウズ Officeで同一の値を設定する必要があります。

- 認証パスワード
- 発行ドメイン

操作手順：

1. **【Garoon側の作業】** システム管理者で、システム管理画面にアクセスします。
詳細は、『パッケージ版 Garoon ヘルプ』の[管理画面へのアクセス](#)を参照してください。
2. **【Garoon側の作業】** 認証形式に「オープン統合認証 ver.2」を選択して、セッション認証を追加します。
詳細は、『パッケージ版 Garoon ヘルプ』の[セッション認証を追加する](#)方法を参照してください。
3. **【Garoon側の作業】** 「標準認証」と「オープン統合認証 ver.2」を使用中に変更します。
詳細は、『パッケージ版 Garoon ヘルプ』の[使用するセッション認証を選択する](#)方法を参照してください。
4. **【サイボウズ Office側の作業】** システム管理者で、システム設定画面にアクセスします。
詳細は、『サイボウズ Office 10 マニュアル』の[システム管理画面にアクセスする](#)方法を参照してください。
5. **【サイボウズ Office側の作業】** モードに「オープン統合認証 ver.2」を選択して、連携認証を設定します。
詳細は、『サイボウズ Office 10 マニュアル』の[サイボウズ Office 10の設定](#)を参照してください。
6. **連携認証の設定が完了していることを確認します。**
次の操作をします。

1. Garoonとサイボウズ Officeの両方からログアウトします。
2. すべてのWebブラウザーを閉じます。

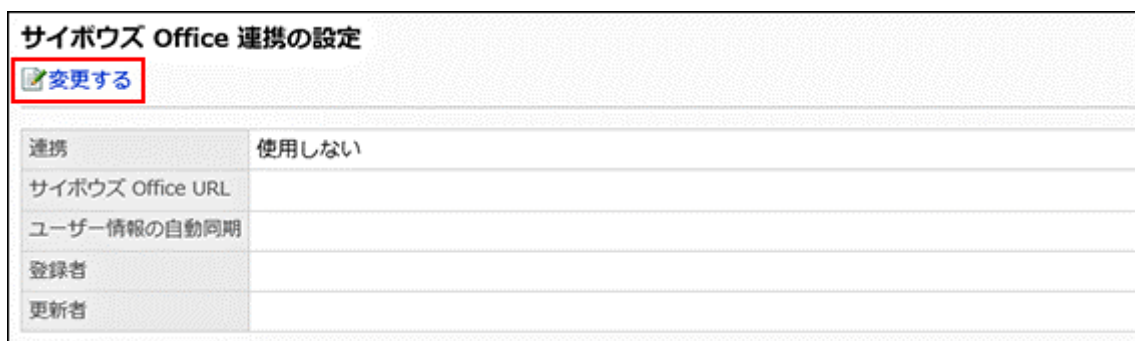
3. Webブラウザを再起動し、Garoonにログインします。
4. サイボウズ Officeにアクセスし、ログイン状態であることを確認します。

6.3. 【3】 サイボウズ Office連携を有効にする

Garoonで、サイボウズ Office連携を有効にします。

操作手順：

1. システム管理者で、Garoonのシステム管理画面にアクセスします。
2. 「各アプリケーションの管理」タブを選択します。
3. [サイボウズ Office / デヂエ連携]をクリックします。
4. [サイボウズ Office 連携の設定]をクリックします。
5. 「サイボウズ Office 連携の設定」画面で、[変更する]をクリックします。



サイボウズ Office 連携の設定	
☒ 変更する	
連携	使用しない
サイボウズ Office URL	
ユーザー情報の自動同期	
登録者	
更新者	

6. 「サイボウズ Office 連携の変更」画面で、次の設定をします。
 - ・「連携」項目を、「使用する」に変更する
 - ・「サイボウズ Office URL」項目に、連携するサイボウズ OfficeへのアクセスURLを入力する

サイボウズ Office 連携の変更

サイボウズ Office と連携すると、ユーザー情報を同期できます。

「*」は必須項目です。必ず入力してください。

連携 ☒ 使用する ☐ 使用しない

サイボウズ Office URL *
例) http://xxxxx.cybozu.co.jp/scripts/cbag/ag.exe

ユーザー情報の自動同期 ☐ 設定する ☒ 設定しない

設定した時間に、サイボウズ Office のユーザー情報をガルーンと同期します。

同期したサイボウズ Office のユーザー情報は元に戻せません。
※ サイボウズ Office のみに存在するユーザーや組織（グループ）は、サイボウズ Office から削除されます。
※ ガルーンのみ存在するユーザーや組織（グループ）は、サイボウズ Office に追加されます。

7. ユーザー情報を同期するタイミングを設定します。

詳細は、[【4】 ユーザー情報の自動同期を設定する\(23ページ\)](#)方法を参照してください。

6.4. 【4】 ユーザー情報の自動同期を設定する

Garoonで、ユーザー情報を同期するタイミングを設定します。この自動同期は2回目以降の同期に適用されます。

初回の同期は、自動同期を設定したあと、手動で行います。

補足

- ユーザー情報の自動同期のタイミングは、ユーザーがアクセスしない時間帯に設定することを推奨します。
- 自動同期の時刻は、UTCの標準時で設定します。
- ユーザー情報の自動同期を設定すると、設定内容が次のログファイルに出力されます。
 - Windowsの場合： C:\inetpub\scripts\cbgrn\sched.log

- Linux版の場合： /var/www/cgi-bin/cbgrn/sched.log

操作手順：

1. Garoonで、サイボウズ Office連携を有効にします。

詳細は、[【3】サイボウズ Office連携を有効にする\(22ページ\)](#)方法を参照してください。

2. 「サイボウズ Office 連携の変更」画面で、ユーザー情報の自動同期に関する設定をします。

- ・「ユーザー情報の自動同期」項目を、「設定する」に変更する
- ・「繰り返し条件」欄で、ユーザー情報を同期するタイミングを選択する

サイボウズ Office 連携の変更

サイボウズ Office と連携すると、ユーザー情報を同期できます。

「*」は必須項目です。必ず入力してください。

連携

☒使用する ☐使用しない

サイボウズ Office URL*

例) http://xxxxx.cybozu.co.jp/scripts/cbag/ag.exe

ユーザー情報の自動同期

☒設定する ☐設定しない

設定した時間に、サイボウズ Office のユーザー情報をガルーンと同期します。

同期したサイボウズ Office のユーザー情報は元に戻せません。

※ サイボウズ Office のみに存在するユーザーや組織（グループ）は、サイボウズ Office から削除されます。

※ ガルーンのみ存在するユーザーや組織（グループ）は、サイボウズ Office に追加されます。

繰り返し条件

☐毎日

☒毎週

日曜日 ▼

☐毎月

1日 ▼

時刻

23時 ▼

00分 ▼

時刻はUTCで指定してください。

変更する

キャンセルする

3. 設定内容を確認し、[変更する]をクリックします。

設定が保存されると、次の画面が表示されます。

サイボウズ Office 連携の設定
 [変更する](#)

連携	使用する
サイボウズ Office URL	http:// /scripts/cbag/ag.exe
ユーザー情報の自動同期	自動同期する（毎週 日曜日 23:00 に同期） 手動で同期する
登録者	 加藤 大輔 08/17（金）
更新者	 加藤 大輔 08/17（金）

6.5. 【5】 ユーザー情報を手動で同期する

Garoonとサイボウズ Officeのユーザー情報を手動で同期します。

手動同期は、次の場合に実施します。

- ユーザー情報を初めて同期する場合
- Garoon側のユーザーや組織のデータ更新を即座に同期したい場合

補足

- ユーザー情報の手動同期は、ユーザーがアクセスしない時間帯に実施することを推奨します。

操作手順：

1. システム管理者で、Garoonのシステム管理画面にアクセスします。
2. 「各アプリケーションの管理」タブを選択します。
3. [サイボウズ Office / デヂエ連携]をクリックします。

4. [サイボウズ Office 連携の設定]をクリックします。
5. 「サイボウズ Office 連携の設定」画面で、[手動で同期する]をクリックします。



サイボウズ Office 連携の設定

[変更する](#)

連携	使用する
サイボウズ Office URL	http://.../scripts/cbag/ag.exe
ユーザー情報の自動同期	自動同期する (毎週 日曜日 23:00 に同期) 手動で同期する
登録者	加藤 大輔 08/17 (金)
更新者	加藤 大輔 08/17 (金)

6. 「ユーザー情報の同期」画面で、[はい]をクリックします。

ユーザー情報の同期が開始されます。

キャンセルする場合は、[いいえ]をクリックします。

同期が終了すると、次の画面が表示されます。



サイボウズ Office 連携の設定

[変更する](#)

連携	使用する
サイボウズ Office URL	http://.../scripts/cbag/ag.exe
ユーザー情報の自動同期	自動同期する (毎週 日曜日 23:00 に同期) 手動で同期する
登録者	加藤 大輔 08/17 (金)
更新者	加藤 大輔 08/17 (金)

6.6. 【6】 同期後の動作確認をする

Garoonのユーザーや組織のデータが、サイボウズ Officeに同期されていることを確認します。

操作手順：

1. **【Garoon側の作業】** システム管理者で、システム管理画面にアクセスします。
2. **【Garoon側の作業】** 「基本システムの管理」タブを選択します。
3. **【Garoon側の作業】** [ユーザー]をクリックします。
4. **【Garoon側の作業】** [組織/ユーザーの設定]をクリックします。
5. **【Garoon側の作業】** 任意の組織を選択し、所属するユーザーを確認します。

組織/ユーザーの設定

組織を選択する
(トップ)

- 管理本部
- 営業本部
 - 国内営業部**
 - 営業3課
 - 海外営業部
- 秘書課

(組織に未所属のユーザー)
(使用停止中のユーザー)

ユーザー検索

選択している組織
国内営業部 [詳細](#)

[ユーザーを追加する](#)
[所属ユーザーを変更する](#)
[子組織](#)
[運用管理権限を設定する](#)

所属ユーザー(1-6 件表示 / 6 件中)
先頭へ | <<前の 20 件へ | 次の 20 件へ>>

☒	ユーザー名	ログイン名
☐	木村 修	osamu-kimura
☐	山田 大介	daisuke-yamada
☐	加藤 大輔	daisuke-kato
☐	中村 健太	kenta-nakamura
☐	松本 由美子	yumiko-matsumoto
☐	山口 直美	naomi-yamaguchi

[ユーザーを追加する](#)

6. **【サイボウズ Office側の作業】** システム管理者で、システム設定画面にアクセスします。
7. **【サイボウズ Office側の作業】** [組織]をクリックします。

組織が、手順5で確認したGaroonの組織と同一であることを確認します。

8. 【サイボウズ Office側の作業】 手順5で確認した組織の[変更する]をクリックします。

組織の設定		
✚ 追加する ✚ 順番変更する		
✓ 組織名		
☐ 管理本部	✚ 変更する ✖ 削除する	
☐ 経理部 (管理本部)	✚ 変更する ✖ 削除する	
☐ 情報システム部 (管理本部)	✚ 変更する ✖ 削除する	
☐ 営業本部	✚ 変更する ✖ 削除する	
☐ 国内営業部 (営業本部)	✚ 変更する ✖ 削除する	
☐ 営業3課 (営業本部 > 国内営業部)	✚ 変更する ✖ 削除する	

9. 【サイボウズ Office側の作業】 所属するユーザーが、手順5で確認したGaroonのユーザーと同一であることを確認します。
問題なければ、[キャンセルする]をクリックします。

組織の変更 (*は必須項目です。)

名前*

国内営業部 (営業本部)

よみ

組織コード

国内営業部

E-mail

URL

連絡先

Fax

所属するユーザー

所属するユーザー

木村 修
山田 大介
加藤 大輔
中村 健太
松本 由美子
山口 直美

ユーザー一覧

ユーザー検索

国内営業部 (営業本部)

木村 修
山田 大介
加藤 大輔
中村 健太
松本 由美子
山口 直美

← 追加

削除 →

変更する

キャンセルする

7 章 Step4-B：ユーザー情報を同期しない場合

Garoonとサイボウズ Officeで、別々にユーザーや組織を管理する場合は、ユーザー情報を同期せずに、オープン統合認証 ver.2を設定します。

7.1. 【1】 サイボウズ Officeで、運用に必要な設定をする

ユーザーや組織、各アプリケーションの設定など、サイボウズ Officeの運用に必要な設定をします。

詳細は、『[サイボウズ Office 10 マニュアル](#)』を参照してください。

7.2. 【2】 オープン統合認証 Ver.2を設定する

Garoonとサイボウズ Officeの両方に、オープン統合認証 ver.2を設定します。次の項目は、Garoonとサイボウズ Officeで同一の値を設定する必要があります。

- 認証パスワード
- 発行ドメイン

操作手順：

1. **【Garoon側の作業】** システム管理者で、システム管理画面にアクセスします。

詳細は、『パッケージ版 Garoon ヘルプ』の[管理画面へのアクセス](#)を参照してください。

2. **【Garoon側の作業】** 認証形式に「オープン統合認証 ver.2」を選択して、セッション認証を追加します。
詳細は、『パッケージ版 Garoon ヘルプ』の[セッション認証を追加する](#)方法を参照してください。
3. **【Garoon側の作業】** 「標準認証」と「オープン統合認証 ver.2」を使用中に変更します。
詳細は、『パッケージ版 Garoon ヘルプ』の[使用するセッション認証を選択する](#)方法を参照してください。
4. **【サイボウズ Office側の作業】** システム管理者で、システム設定画面にアクセスします。
『サイボウズ Office 10 マニュアル』の[システム管理画面にアクセスする](#)方法を参照してください。
5. **【サイボウズ Office側の作業】** モードに「オープン統合認証 ver.2」を選択して、連携認証を設定します。
詳しくは、『サイボウズ Office 10 マニュアル』の[サイボウズ Office 10の設定](#)を参照してください。

6. 連携認証の設定が完了していることを確認します。

次の操作をします。

1. Garoonとサイボウズ Officeの両方からログアウトします。
2. すべてのWebブラウザを閉じます。
3. Webブラウザを再起動し、Garoonにログインします。
4. サイボウズ Officeにアクセスし、ログイン状態であることを確認します。

8 章 Step5：連携するアプリを準備する

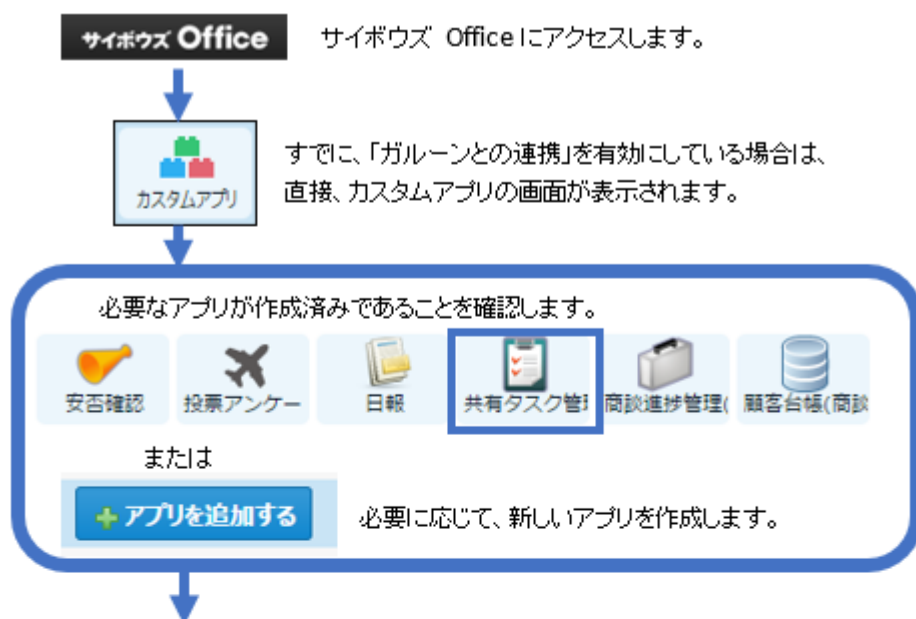
サイボウズ Officeのカスタムアプリで、Garoonのポータルに表示するアプリを準備します。
アプリの設定で、次の設定をしておくと、Garoonでのポートレットの作成がスムーズです。

- ビュー（データの見せ方）
- レコードの集計条件
- アクセス権
- 更新通知

カスタムアプリの操作は、次の『サイボウズ Office 10 マニュアル』の「カスタムアプリ」セクションを参照してください。

- [システム管理者の操作](#)
- [ユーザーの操作](#)

作業フローは、次の図を参照してください。



次のことを確認します。

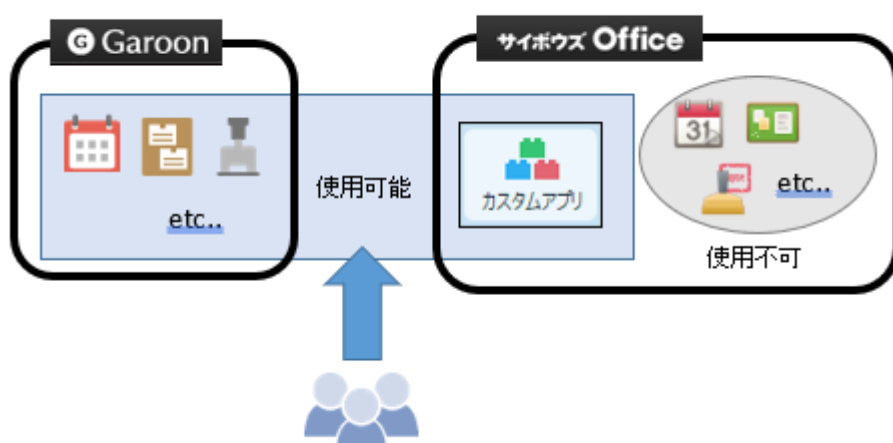
- レコードが登録済みであること
- ビュー(データの見せ方)、集計条件などが設定済みであること
- アクセス権や更新通知の設定に問題がないこと



9 章 Step6：「ガルーンとの連携」を有効にする

サイボウズ Officeの「ガルーンとの連携」は、スケジュールや掲示板など主な運用をGaroonで行うことを前提に、サイボウズ Officeを「カスタムアプリ」だけに限定して運用する機能です。Garoon側でスケジュールや掲示板などを運用し、売り上げ管理などのデータ管理をカスタムアプリで運用する、といった使い方ができます。

「ガルーンとの連携」を有効にした場合のイメージ：



「サイボウズ Office連携」や「ガルーンとの連携」を有効にするだけでは、Garoonのポータルにカスタムアプリのデータは表示されません。

Garoon側とサイボウズ Office側で、各連携の設定が完了したあと、Garoonでカスタムアプリのポートレットを準備し、ポータルに配置する必要があります。

補足

- ・「ガルーンとの連携」を有効にすると、サイボウズ Officeの画面に表示されるメニューの数やリンクの挙動が変わります。

詳細は [「ガルーンとの連携」の仕様\(48ページ\)](#) を参照してください。

操作手順：

1. システム管理者で、サイボウズ Officeのシステム設定画面にアクセスします。

2. WebブラウザのURL欄に、次のURLを入力し、アクセスします。

「ガルーンとの連携」画面が表示されます。

- Windows環境

http://（サーバーのIPアドレスまたはホスト名）/scripts/cbag/ag.exe?
page=SystemLibraryModeAdmin

3. 「カスタムアプリのみ有効にする」を選択し、[設定する]をクリックします。



設定が反映されると、サイボウズ Officeの「システム設定」画面が表示されます。

4. アプリケーションメニューに、 **カスタムアプリ** が表示されていることを確認します。

5. ヘッダーの製品ロゴをクリックし、カスタムアプリのルートフォルダが表示されることを確認します。



Garoonとサイボウズ Officeを別々のサーバーにインストールしている場合、Garoonのポータルにカスタムアプリのポートレットを表示するためには、サイボウズ Office側のクリックジャッキング対策を無効にする設定が必要です。手順6に進んでください。

6. サイボウズ Officeをインストールしているサーバーに、Administrator権限を持つユーザーでログインします。

7. 「debug.ini」ファイルを作成します。

- 最新のサイボウズ Office 10を新規にインストールしてお使いの場合：
データディレクトリの下に、「debug.ini」ファイルを作成します。

例：

C:\cybozu\office\cbag\debug.ini

- サイボウズ Office 9以前をバージョンアップして、最新のサイボウズ Office 10をお使いの場合：

インストールディレクトリの下に、「debug.ini」ファイルを作成します。

例：

C:\inetpub\scripts\cbag\debug.ini

8. テキストエディタで、作成した「debug.ini」ファイルを開き、次の値を記載して保存します。

```
[Server]
XFrameOptions=
```

これで、Garoon側とサイボウズ Office側の各連携の設定は完了です。

次に、Garoonのポータルに、必要なカスタムアプリのポートレットを配置します。

10 章 Step7：カスタムアプリのポートレットを準備する

Garoonのポータルに、カスタムアプリの通知やアプリ内のレコード一覧を表示できるポートレットを準備します。

よく使うアプリのポートレットを準備してポータルに配置すると、Garoonの画面から、アプリの通知やアプリ内のレコード一覧、作業の進捗状況などを確認できます。

カスタムアプリのデータを確認できるポートレット（以降、カスタムアプリのポートレット）は、Garoonの「HTMLポートレットの追加」画面で作成します。

この画面は、「システム管理」、「個人設定」のそれぞれで用意されています。

- 「システム管理」で作成したHTMLポートレット：

Garoonの全ユーザーで利用可能です。

- 「個人設定」で作成したHTMLポートレット：

作成したユーザーだけが利用可能です。

上記のどちらの場合もHTMLポートレットの作成方法は同じです。

このページでは、「システム管理」でHTMLポートレットを作成する手順を案内します。

操作手順：

1. Garoonとサイボウズ Officeを別々のサーバーにインストールしている場合は、「debug.ini」ファイルの設定を確認します。

詳細は、[Step6：「ガルーンとの連携」を有効にする\(34ページ\)](#)方法を参照してください。

2. システム管理者で、Garoonのシステム管理画面にアクセスします。
3. 「各アプリケーションの管理」タブを選択します。
4. [ポータル]をクリックします。
5. [HTMLポートレット]をクリックします。
6. 「HTMLポートレット」画面で、[HTMLポートレットを追加する]をクリックします。

7. 「HTMLポートレットの追加」画面で、HTMLポートレットの項目を設定し、[追加する]をクリックします。

「ポートレットの内容」に記述するHTMLの詳細は、次のページを参照してください。

[「カスタムアプリ最新情報」ポートレットの記述例\(52ページ\)](#)

[「カスタムアプリ（レコード一覧）」ポートレットの記述例\(54ページ\)](#)

[「カスタムアプリ（集計表示）」ポートレットの記述例\(57ページ\)](#)

補足

- 「グループ」項目は、ポートレットグループを作成している場合に選択できます。

HTMLポートレットの追加

HTMLポートレットの情報を入力してください。

「*」は必須項目です。必ず入力してください。

ポートレット名	標準*: カスタムアプリ連携情報
	言語ごとに表示名を設定する
グループ	カスタムアプリ連携 ▼
Mvポータル	☒ Mvポータルでの利用を許可する

複数のポートレットを追加する場合は、ポートレットグループを設定しておく、ポータルの設定時に目的のポートレットを探しやすくなります。

詳細は、『パッケージ版 Garoon ヘルプ』の[ポートレットグループを追加する](#)方法を参照してください。

11 章 Step8：ポートレットをポータルに配置する

ポータルに、準備したカスタムアプリのポートレットを配置します。

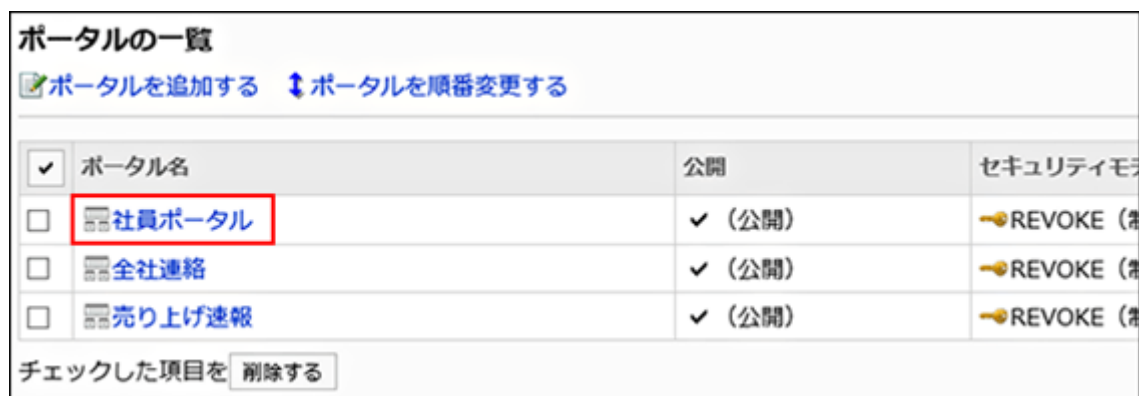
ポータルの設定の詳細は、『パッケージ版 Garoon ヘルプ』の[ポータル](#)を参照してください。

操作手順：

1. Garoonとサイボウズ Officeを別々のサーバーにインストールしている場合は、「debug.ini」ファイルの設定を確認します。

詳細は、[Step6：「ガルーンとの連携」を有効にする\(34ページ\)](#)方法を参照してください。

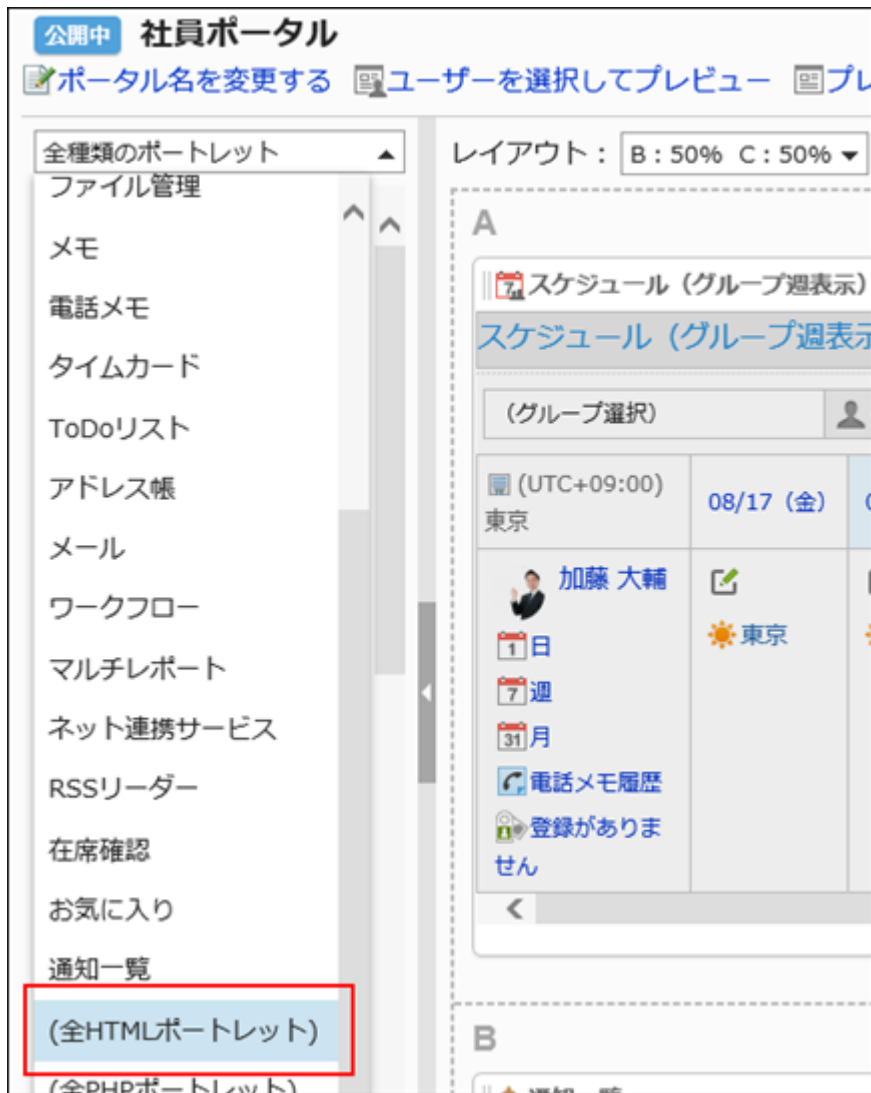
2. システム管理者で、Garoonのシステム管理画面にアクセスします。
3. 「各アプリケーションの管理」タブを選択します。
4. [ポータル]をクリックします。
5. [ポータルの一覧]をクリックします。
6. 準備したポートレットを配置するポータルをクリックします。



☒	ポータル名	公開	セキュリティモード
☐	社員ポータル	✓ (公開)	🔑 REVOKE (無効)
☐	全社連絡	✓ (公開)	🔑 REVOKE (無効)
☐	売り上げ速報	✓ (公開)	🔑 REVOKE (無効)

チェックした項目を

7. ポータルの詳細画面の左上のメニューをクリックし、「(全HTMLポートレット)」を選択します。



8. ポータルの任意の場所に、目的のポートレットを配置します。

ポートレットの配置は、ドラッグアンドドロップで操作します。



9. ポータルのプレビューを確認します。

詳細は、『パッケージ版 Garoon ヘルプ』の[ポータルのプレビュー](#)を参照してください。

12 章 ユーザー情報を同期済みのデヂエを、サイボウズ Officeにバージョンアップする場合

このセクションは、Garoonとデヂエで、ユーザー情報を同期して運用しているユーザー向けの説明です。

Garoonとユーザー情報を同期していたデヂエを、バージョン 10.8以降のサイボウズ Officeにバージョンアップする場合は、ユーザー情報の同期を引き続き設定できます。

ただし、デヂエ連携で利用していたポートレットは継続して利用できません。

サイボウズ Officeにバージョンアップ後、カスタムアプリ連携で使用するポートレットを準備する必要があります。

ユーザー情報を同期済みのデヂエを、サイボウズ Officeにバージョンアップする流れ

Steps:

- Step 1 [カスタムアプリ連携に必要な条件を確認する](#)
- Step 2 [Garoonとデヂエのユーザー情報の同期を解除する](#)
- Step 3 [Garoonからデヂエ連携で利用していたデヂエポートレットを削除する](#)
- Step 4 [Garoonをバージョン 5.0以降にバージョンアップする](#)
- Step 5 [デヂエを、バージョン 10.8以降のサイボウズ Officeにバージョンアップする](#)
- Step 6 [サイボウズ Office連携が使用可能かを確認する](#)
- Step 7 [Garoonとサイボウズ Officeでユーザー情報を同期する](#)
- Step 8 [連携するカスタムアプリを準備する](#)
- Step 9 [ガルーンとの連携を有効にする](#)
- Step 10 [カスタムアプリのポートレットを準備する](#)
- Step 11 [ポートレットをポータルに配置する](#)
- Step 12 [ユーザーにカスタムアプリの利用開始を連絡する](#)

Step 1

カスタムアプリ連携に必要な条件を確認する

詳細は、[Step1：カスタムアプリ連携に必要な条件を確認する\(8ページ\)](#)方法を参照してください。

Step 2

Garoonとデチエのユーザー情報の同期を解除する

ユーザー情報の同期を解除する手順は、次のとおりです。

1. システム管理者で、Garoonのシステム管理画面にアクセスします。
2. 「各アプリケーションの管理」タブを選択します。
3. [サイボウズ Office / デチエ連携] をクリックします。
4. [デチエ連携の設定] をクリックします。
5. 「デチエ連携の設定」画面で、[変更する] をクリックします。
6. 「デチエ連携の変更」画面の「連携」項目で、「使用しない」を選択し、[変更する] をクリックします。

詳細は、『[デチエ連携ガイド](#)』を参照してください。

Step 3

Garoonからデチエ連携で利用していたデチエポートレットを削除する

詳細は、次の『パッケージ版 Garoon ヘルプ』を参照してください。

システム管理者の操作：[ポータルに配置したポートレットを削除する](#)

ユーザーの操作：[Myポータルに配置したポートレットを削除する](#)

Step 4

Garoonをバージョン 5.0以降にバージョンアップする

詳細は、『パッケージ版 Garoon ヘルプ』の[インストールガイド](#)を参照してください。

**Step
5****デチエを、バージョン 10.8以降のサイボウズ Officeにバージョンアップする**

詳細は、『サイボウズ Office 10 マニュアル』の[デチエ製品をサイボウズ Office 10にする](#)方法を参照してください。

注意

- サイボウズ OfficeのLinux版は、カスタムアプリ連携に対応していません。
このため、Linux版のデチエをお使いの場合は、次の作業が必要です。
 - デチエのサーバーを、LinuxからWindowに移行する：
詳細は、『デチエ 8 マニュアル』の[サーバー／ドライブを移行する](#)方法を参照してください。
 - サーバー移行後に、デチエをサイボウズ Officeにバージョンアップする

**Step
6****サイボウズ Office連携が使用可能かを確認する**

詳細は、[Step2：サイボウズ Office連携が使用可能かどうかを確認する\(12ページ\)](#)方法を参照してください。

**Step
7****Garoonとサイボウズ Officeでユーザー情報を同期する**

詳細は、[Step4-A：ユーザー情報を同期する場合\(15ページ\)](#)を参照してください。

Step 8

連携するカスタムアプリを準備する

詳細は、[Step5：連携するアプリを準備する\(32ページ\)](#)方法を参照してください。

Step 9

ガルーンとの連携を有効にする

詳細は、[Step6：「ガルーンとの連携」を有効にする\(34ページ\)](#)方法を参照してください。

Step 10

カスタムアプリのポートレットを準備する

詳細は、[Step7：カスタムアプリのポートレットを準備する\(37ページ\)](#)方法を参照してください。

Step 11

ポートレットをポータルに配置する

詳細は、[Step8：ポートレットをポータルに配置する\(40ページ\)](#)方法を参照してください。

**Step
12**

ユーザーにカスタムアプリの利用開始を連絡する

13 章 「ガルーンとの連携」の仕様

サイボウズ Officeの「ガルーンとの連携」を有効にすると、サイボウズ Officeの画面に表示されるメニューの数やリンクの挙動が変わります。

13.1. 連携を有効にしても変わらないこと

- サイボウズ Officeは日本語のみに対応しています。
ユーザーの表示言語の設定にかかわらず、カスタムアプリの画面は日本語で表示されます。
- Garoonのタイムゾーンの設定は、カスタムアプリには適用されません。
- 「ガルーンとの連携」の有無による、カスタムアプリの機能や操作範囲の差異はありません。
- KUNAIの画面では、カスタムアプリの通知を確認できません。
KUNAIで通知を確認するには、カスタムアプリのメール通知を、端末のメールアドレスで受信できるように設定します。

13.2. 連携の有効/無効による挙動の違い

「ガルーンとの連携」を有効にするかどうかによって、サイボウズ Officeの画面に表示されるメニューやリンクなどの挙動が変わります。

サイボウズ Officeのメニューやリンク	「ガルーンとの連携」が有効の場合	「ガルーンとの連携」が無効の場合
サイボウズ Officeで利用できるアプリケーション	カスタムアプリのみ利用できます。	初期状態では、すべてのアプリケーションを利用できます。 一度連携を有効にしたあと、無効にした環境では、カスタムアプリの利用のみ有効になっています。 必要に応じて、ほかのアプリケーションの利用を有効にしてください。
カスタムアプリの利用ユーザーを制限する操作	設定できません。	- 設定画面： サイボウズ Officeのシステム設定の「個人に許可するアプリケーション」 - 操作： カスタムアプリの利用を制限するユーザーに対し、「カスタムアプリ」の選択を外します。
「システム設定」画面	サイボウズ Officeのシステム設定に、次のメニューが表示されません。  使用するアプリケーション  個人に許可するアプリケーション	サイボウズ Officeのシステム設定に、すべてのメニューが表示されます。

サイボウズ Officeのメニューやリンク	「ガルーンとの連携」が有効の場合	「ガルーンとの連携」が無効の場合
	上記のメニューのURLにアクセスしようとすると、エラーが表示されます。	
「個人設定」画面	サイボウズ Officeの個人設定に、次のメニューが表示されません。 •  トップページ •  パワーアップツール 上記のメニューのURLにアクセスした場合は、ページを表示できます。	サイボウズ Officeの個人設定に、すべてのメニューが表示されます。
ヘッダーの製品ロゴをクリックした時の挙動 	カスタムアプリのルートフォルダが表示されます。	サイボウズ Officeのトップページが表示されます。
パンくずリストやバックリンクでトップページへのリンクをクリックした時の挙動 	カスタムアプリのルートフォルダが表示されます。	サイボウズ Officeのトップページが表示されます。

14 章 カスタムアプリのポートレットについて

Garoonのポータルでカスタムアプリのデータを表示できるポートレットは3種類です。

■ 「カスタムアプリ最新情報」 ポートレット

アプリの通知や自分の担当レコードの件数を確認する場合に便利です。

ポートレット内のメッセージをクリックすると、通知内容や、自分が担当するレコードの一覧が表示されます。

カスタムアプリ最新情報

- 宛先指定された通知が 3 件 あります。
- 共有タスク管理に未処理のタスクが 2 件 あります。
- 休暇申請に未処理の休暇が 1 件 あります。

アイコン	項目名	内容	時刻
📄	案件番号 5	加藤さんこちらの件の...	13:53
📄	タスク番号 1	こちらの状況いかがで...	13:47
📄	ご意見番号 1	対応完了いたしました...	14:00

■ 「カスタムアプリ（レコード一覧）」 ポートレット

タスク管理アプリなど、ユーザーがよく参照するアプリのレコード一覧を表示すると便利です。

Garoonのポータルに、レコードの一覧を表示できます。ただし、ユーザーにアクセス権がないレコードは表示されません。

共有タスク管理（レコード一覧）

絞り込み: 未完了、ビュー: 状況ごとの表示
 先頭へ | << 前の5件へ | 次の5件へ >>

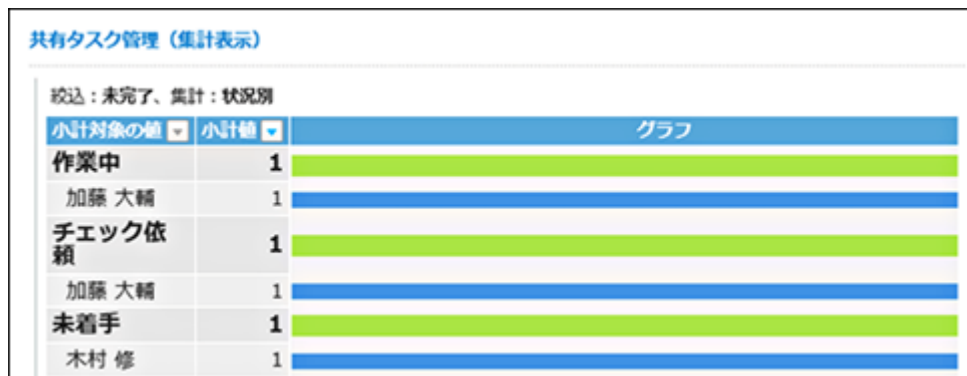
	処理者	日付	タイトル
チェック依頼			
🔍 ➡	加藤 大輔	2018/8/15	パンフレットの増版
作業中			
🔍 ➡	加藤 大輔	2018/8/31	8月出張報告の提出
未着手			
🔍 ➡	木村 修	2018/8/20	名刺の発注

先頭へ | << 前の5件へ | 次の5件へ >>

■ 「カスタムアプリ（集計表示）」 ポートレット

売上報告アプリなど、ユーザーがよく参照する集計結果を表示すると便利です。

Garoonのポータルに、レコードの集計結果を表示できます。ただし、ユーザーにアクセス権がない場合、集計結果は表示されません。



補足

- ポートレットでは、カスタムアプリ自体に設定していても、一部の機能が設定できません。詳細は、『サイボウズ Office 10 マニュアル』の[「カスタムアプリ」パーツ](#)を参照してください。

14.1. 「カスタムアプリ最新情報」ポートレットの記述例

サイボウズ Officeの「最新情報」ポートレットには、アプリの通知や自分の担当レコードの件数が表示されます。

次の表示用URLを使用してHTMLタグを記述すると、「最新情報」ポートレットを追加できます。

■ 「最新情報」ポートレットの表示用URL：

- Windows環境

http://（サーバーのIPアドレスまたはホスト名）/scripts/cbag/ag.exe?
page=ForGaroonWhatsNew

■ ポートレットの記述例：

```
<table class="top_title">
<tr>
<td nowrap><strong>カスタムアプリ最新情報</strong></td>
</tr>
</table>
<table class="list_column">
<tr><td nowrap>
<iframe border="No" frameborder="0" scrolling="Yes" width="100%"
height="150"
src="http://（サーバーのIPアドレスまたはホスト名）/scripts/cbag/ag.exe?
page=ForGaroonWhatsNew">
</iframe>
</td></tr></table>
```

- 「カスタムアプリ最新情報」：
ポートレットのタイトルを入力します。
- height：
ポートレットの高さを指定します。
- src：
「最新情報」ポートレットの表示用URLです。

■ タイトルに「カスタムアプリ最新情報」を指定した例：



補足

- 「最新情報」ポートレットに表示される通知の件数は、カスタムアプリ1つにつき最大5件です。

14.2. 「カスタムアプリ（レコード一覧）」ポートレットの記述例

サイボウズ Officeの「カスタムアプリ（レコード一覧）」ポートレットには、特定のアプリのレコード一覧が表示されます。

次の表示用URLを用いてHTMLタグを記述すると、「カスタムアプリ（レコード一覧）」ポートレットを追加できます。

■ 「カスタムアプリ（レコード一覧）」ポートレットの表示用URL：

- Windows環境

`http://（サーバーのIPアドレスまたはホスト名）/scripts/cbag/ag.exe?
page=ForGaroonDBView`

■ ポートレットの記述例：

```
<table class="top_title">
<tr>
<td nowrap><strong>
<a href="http://（サーバーのIPアドレスまたはホスト名）/scripts/cbag/ag.exe?
page=DBView&did=129" target="_blank">
共有タスク管理（レコード一覧） </a></strong></td>
</tr>
</table>
<table class="list_column">
<tr><td nowrap>
```

```
<iframe border="No" frameborder="0" scrolling="Yes" width="100%"
height="500"
src="http://（サーバーのIPアドレスまたはホスト名）/scripts/cbag/ag.exe?
page=ForGaroonDBView&did=129&QID=all&vid=137&Rows=10">
</iframe>
</td></tr></table>
```

- a href :
ポートレットに表示するアプリを指定するURLです。お使いの環境に応じたURLを指定します。
- 「共有タスク管理（レコード一覧）」 :
ポートレットのタイトルを入力します。
- height :
ポートレットの高さを指定します。
- src :
「カスタムアプリ（レコード一覧）」ポートレットの表示用URLです。必要に応じてパラメーターを指定します。
詳細は、[使用可能なパラメーター\(55ページ\)](#)を参照してください。

■ タイトルに「共有タスク管理（レコード一覧）」を指定した例：

共有タスク管理（レコード一覧）			
絞込：未完了、ビュー：状況ごとの表示			
先頭へ << 前の5件へ 次の5件へ >>			
状況 ▼			
	処理者	切日	標題
チェック依頼			
	加藤 大輔	2018/8/15	パンフレットの増版
作業中			
	加藤 大輔	2018/8/31	8月出張報告の提出
未着手			
	木村 修	2018/8/20	名刺の発注
先頭へ << 前の5件へ 次の5件へ >>			

使用可能なパラメーター

カスタムアプリのパラメーターはURLに表示されます。

サイボウズ Officeのカスタムアプリで絞り込みやソートなどを実行すると、結果画面のURLでパラメーターを確認できます。

「カスタムアプリ（レコード一覧）」ポートレットに使用できる主なパラメーターは、次のとおりです。

パラメーター	必須	説明
page	✓	「ForGaroonDBView」を指定します。 ポートレットにカスタムアプリのレコード一覧が表示されます。
DID	✓	カスタムアプリのIDを指定します。 たとえば次のURLの場合、カスタムアプリのID（did）は「129」です。 http://（サーバーのIPアドレスまたはホスト名）/scripts/cbag/ag.exe? page=ForGaroonDBView&did=129&QID=all&vid=137&Rows=10
VID		表示するビューを指定します。 次のどちらかの値を指定します。 • all：すべての項目が表示されます。 • 数値：「ビュー（一覧）の設定」で登録したビューのIDを指定します。 省略すると、「最初に表示する画面の設定」の「表示するタブ」に設定された「ビュー（一覧）」または「集計」が表示されます。 「表示するタブ」が「ビュー（一覧）」の場合、次の順で使用可能なビューが適用されます。 1. 「ビュー（一覧）の設定」の「最初に選択されるビュー」 2. レコード一覧画面のビューの順番
• QID • status • stext • UID		絞り込みに関連するIDです。 絞り込む種類によって、複数のパラメーターを使用します。 実際に絞り込みを表示したURLを基に、必要なパラメーターを確認します。

パラメーター	必須	説明
• utext • starting¹ • enableSelectStarting¹ • disableSelectStarting¹		QIDを省略すると、次の順で、使用可能な絞り込みが適用されます。 1. 「絞り込みの設定」の「最初に選択される絞り込み」 2. 絞り込み一覧の順番
SID		ソートのIDです。 省略すると、次の順で、使用可能なソートが適用されます。 1. 「ソートの設定」の「最初に選択されるソート」 2. ソート一覧の順番
Rows		ポートレットに表示するレコード数を指定します。 省略すると、1画面に5件までレコードが表示されます。 • ポートレットに10件のレコードを表示する場合の例： http://（サーバーのIPアドレスまたはホスト名）/scripts/cbag/ ag.exe? page=ForGaroonDBView&did=129&QID=all&vid=137&Rows=10

¹：パラメーターを指定しても、次のどちらかの条件を満たす場合は無効になります。

- カスタムアプリで開始日が使用されていない。
- statusに「d：完了」が指定されている。

14.3. 「カスタムアプリ（集計表示）」ポートレットの記述例

サイボウズ Officeの「カスタムアプリ（集計表示）」ポートレットには、特定のアプリの集計画面が表示されます。

次の表示用URLを用いてHTMLタグを記述すると、「カスタムアプリ（集計表示）」ポートレットを追加できます。

■ 「カスタムアプリ（集計表示）」ポートレットの表示用URL：

- Windows環境

http://（サーバーのIPアドレスまたはホスト名）/scripts/cbag/ag.exe?

page=ForGaroonDBTotalingView

■ ポートレットの記述例：

```
<table class="top_title">
<tr>
<td nowrap><strong>
<a href="http://（サーバーのIPアドレスまたはホスト名）/scripts/cbag/ag.exe?
page=DBTotalingView&did=129" target="_blank">共有タスク管理（集計表示）</
a>
</strong></td>
</tr>
</table>
<table class="list_column">
<tr><td nowrap>
<iframe border="No" frameborder="0" scrolling="Yes" width="100%"
height="300"
src="http://（サーバーのIPアドレスまたはホスト名）/scripts/cbag/ag.exe?
page=ForGaroonDBTotalingView&did=129&VID=137&QID=all&TID=29">
</iframe>
</td></tr></table>
```

- a href：
ポートレットに表示するアプリを指定するURLです。お使いの環境に応じたURLを指定します。
- 「共有タスク管理（集計表示）」：
ポートレットのタイトルを入力します。
- height：
ポートレットの高さを指定します。
- src：
「カスタムアプリ（集計表示）」ポートレットの表示用URLです。必要に応じてパラメーターを指定します。
詳細は、[使用可能なパラメーター\(59ページ\)](#)を参照してください。

■ タイトルに「共有タスク管理（集計表示）」を指定した例：

共有タスク管理（集計表示）		
絞込：未完了、集計：状況別		
小計対象の値 ▼	小計値 ▼	グラフ
作業中	1	
加藤 大輔	1	
チェック依頼	1	
加藤 大輔	1	
未着手	1	
木村 修	1	

使用可能なパラメーター

カスタムアプリのパラメーターは、URLに表示されます。サイボウズ Officeのカスタムアプリで絞り込みやソートなどを実行すると、結果画面のURLでパラメーターを確認できます。

ポートレットに設定できる主なパラメーターは、次のとおりです。

パラメーター	必須	説明
page	✓	「ForGaroonDBTotalingView」を指定します。 ポートレットに集計結果が表示されます。
DID	✓	カスタムアプリのIDです。 たとえば次のURLの場合、カスタムアプリのID（did）は「129」です。 ttp://（サーバーのIPアドレスまたはホスト名）/scripts/cbag/ag.exe?page=DBTotalingView&did=129
TID		集計のIDです。 省略すると、次の順で、使用可能な集計が適用されます。 1. 「集計の設定」の「初期値の設定」に設定されている、最初に

パラメーター	必須	説明
		選択される集計 2. 「集計の設定」に登録されている集計の順番
QID		絞り込みのIDです。 次のいずれかの値を指定します。 • all：すべてのレコードが表示されます。 • 数値：「絞り込みの設定」で登録した絞り込みのIDを指定します。 省略すると、次の順で、使用可能な絞り込みが適用されます。 1. 「絞り込みの設定」の「最初に選択される絞り込み」 2. 絞り込み一覧の順番

15 章 コマンドラインでユーザー情報を同期する

コマンドラインを使用して、Garoonとサイボウズ Officeのユーザー情報を同期できます。
同期の繰り返し条件は、WindowsのタスクスケジューラやLinuxのcronを使用して設定します。

注意

- ユーザー情報の同期を実行すると、サイボウズ Officeのユーザー情報がGaroonのデータで上書きされます。
同期したサイボウズ Officeのユーザー情報は元に戻せません。

補足

- Garoonを複数台のサーバーで運用している場合は、いずれか1台のサーバーでコマンドラインを実行します。

15.1. Windowsの場合

Garoonを次のディレクトリーにインストールした場合を例として説明します。

C:\inetpub\scripts\cbgrn

操作手順：

1. ユーザー情報の同期に関する注意事項や必要な設定をします。

下記の設定が完了している場合は、手順2に進みます。

- ユーザー情報を同期する前に確認すること

- オープン統合認証Ver2.の設定
- サイボウズ Office連携の有効化
- （必要に応じて）ユーザー情報の自動同期の設定

詳細は、[Step4-A：ユーザー情報を同期する場合\(61ページ\)](#)を参照してください。

2. コマンドプロンプトを起動します。

3. カレントディレクトリーを次のディレクトリーに移動します。

```
C:\inetpub\scripts\cbgrn
```

4. 次のコマンドを実行します。

```
.\grn.exe -C -q code\command\send_user_to_office.csp url= (サイ  
ボウズ OfficeのURL)
```

例：

```
.\grn.exe -C -q code\command\send_user_to_office.csp  
url=http://office.domain.co.jp/scripts/cbag/ag.exe
```

補足

- コマンドを実行すると、標準出力の内容が次のログファイルに出力されます。

C:\inetpub\scripts\cbgrn\send_user_to_office.log

15.2. Linuxの場合

Garoonを次のディレクトリーにインストールした場合を例として説明します。

/var/www/cgi-bin/cbgrn

操作手順：

1. ユーザー情報の同期に関する注意事項や必要な設定をします。

下記の設定が完了している場合は、手順2に進みます。

- ユーザー情報を同期する前に確認すること
- オープン統合認証Ver2.の設定
- サイボウズ Office連携の有効化
- （必要に応じて）ユーザー情報の自動同期の設定

詳細は、[Step4-A：ユーザー情報を同期する場合\(61ページ\)](#)を参照してください。

2. コンソールを起動します。

3. 次のディレクトリーに移動します。

```
/var/www/cgi-bin/cbgrn
```

4. 次のコマンドを実行します。

```
./grn.cgi -C -q code/command/send_user_to_office.csp url= (サイ  
ボウズ OfficeのURL)
```

例：

```
./grn.cgi -C -q code/command/send_user_to_office.csp  
url=http://office.domain.co.jp/scripts/cbag/ag.exe
```

補足

- コマンドを実行すると、標準出力の内容が次のログファイルに出力されます。

`/var/www/cgi-bin/cbgrn/send_user_to_office.log`

16 章 ログ

カスタムアプリ連携に関連するログは2種類あります。

- カスタムアプリ連携の設定に伴うログ
- アプリログ

16.1. カスタムアプリ連携の設定に伴うログ

ログは、次の構成で出力されます。

[操作][対象][ログの内容]

操作	対象	ログの内容
ユーザーが行った操作です。 [modify]（変更）、[sync]（同期）などがあります。	監査対象のアプリケーション名やモジュール名などが表示されます。	操作を行ったユーザーや、ログの対象となったデータなどが、「プロパティ：値」の形式で記述されます。値と値の間は、「,」（カンマ）とスペースで区切られています。

補足

- ログに出力される日付や曜日には、Garoonで設定したタイムゾーンが適用されます。

Garoonのシステム管理の設定に関するログ

対象	操作	レベル	ログ
サイボウズ Office連携	設定	重要情報	[modify] officelink_setting (officelink_available:XX, url:XX, sync_user_available:XX, repeat_type:XX, repeat_value:XX, hour:XX, minute:XX)
ユーザー情報の同期	同期	重要情報	[sync] officelink_sync_user (url:XX, cmd:1)

Garoonのシステム管理のログで使用するプロパティ

プロパティの種類	意味	メモ
officelink_available	サイボウズ Office連携の使用	次のどちらかの値が表示されます。 • true（使用する） • false（使用しない）
url	サイボウズ Officeの URL	
sync_user_available	ユーザー情報の自動同期	次のどちらかの値が表示されます。 • true（使用する） • false(使用しない)
repeat_type	繰り返し条件	次のいずれかの値が表示されます。 • 1（毎日） • 2（毎週） • 3（毎月）

プロパティの種類	意味	メモ
repeat_value	繰り返し条件	repeat_typeの値が2の場合： • 0（日曜日） • 1（月曜日） • 2（火曜日） • 3（水曜日） • 4（木曜日） • 5（金曜日） • 6（土曜日） repeat_typeの値が3の場合： • 日付が表示されます。 • 月末の場合は「0」が表示されます。
hour	設定時刻 (時)	
minute	設定時刻 (分)	
cmd	コマンドラインによる同期	次のどちらかの値が表示されます。 • 1（コマンドラインを使用している） • 表示なし（コマンドラインを使用していない）

ユーザー情報の自動同期を設定した場合に出力されるログファイル

- Windows環境
C:\inetpub\scripts\cbgrn\sched.log

- Linux環境

/var/www/cgi-bin/cbgrn/sched.log

コマンドラインでユーザー情報を同期した場合に出力されるログファイル

- Windows環境

C:\inetpub\scripts\cbgrn\send_user_to_office.log

- Linux環境

/var/www/cgi-bin/cbgrn/send_user_to_office.log

16.2. アプリログ

アプリログとは、ユーザーがアプリで行った操作を記録するログです。アプリごとに記録されます。

フォルダのアクセス権やアプリの運用管理者の設定にかかわらず、システム管理者は、すべてのアプリの操作ログを管理できます。

初期状態ではアプリログの出力が無効になっています。

必要に応じて、サイボウズ Officeのシステム設定から、アプリごとに記録する操作ログを設定してください。

詳細は、『サイボウズ Office 10 マニュアル』の[アプリログの管理](#)を参照してください。

補足

- アプリログには、Garoonのタイムゾーンは適用されません。
-

17 章 エラーメッセージ

カスタムアプリ連携に関連するエラーメッセージは2種類あります。

- Garoonの画面に表示されるエラーメッセージ
- サイボウズ Officeのポートレット内に表示されるエラーメッセージ

17.1. Garoonの画面に表示されるエラーメッセージ

Garoonの画面に表示されるエラーメッセージは、次のとおりです。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_CMMN_00003	アプリケーションを使用できません。	アクセスしようとしたアプリケーションが使用停止中になっているか、現在ログイン中のユーザーが使用を許可されていません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_DZLK_61005	処理を中断しました。	サイボウズ Office連携を使用しない設定になっています。	システム管理者にご相談ください。
GRN_DZLK_61006	サイボウズ Officeが動作するサーバーとの接続に失敗しました。	サイボウズ Officeが動作するサーバーとの通信時にエラーが発生しました。	サイボウズ Officeが動作するサーバーの状態を確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
		通信時のエラーメッセージ：○○○	
GRN_DZLK_61007	処理を実行できません。	サイボウズ Officeとの通信時にエラーが発生しました。 HTTPステータスコード：○○○	サイボウズ Officeが正常に動作していることを確認してください。
GRN_DZLK_61008	処理を実行できません。	サイボウズ Office連携に使用する認証方式が削除または変更されている可能性があります。	サイボウズ Office連携に使用する認証方式を確認し、再度設定を行ってください。
GRN_DZLK_61009	処理を実行できません。	サイボウズ Office連携に使用する認証方式が無効になっている可能性があります。	サイボウズ Office連携に使用する認証方式を有効にしてください。
GRN_DZLK_61054	処理を実行できません。 サイボウズ Officeのエラー番号：***	サイボウズ Officeのサーバーとの通信時にエラーが発生しました。 サイボウズ Officeのサーバーからの応答：***	ガルーンとサイボウズ Officeで、オープン統合認証 ver.2の設定を確認してください。または、サイボウズ Officeの状態を確認してください。 解決しない場合は、サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_DZLK_61055	処理を実行できません。	サイボウズ Officeのサーバーとユーザー情報を同期中です。ユーザー情報の同期処理は、同時に複数実行できません。	実行中の同期処理が終了してから、再度処理を実行してください。

17.2. サイボウズ Officeのポートレット内に表示されるエラーメッセージ

サイボウズ Officeのポートレット内に表示されるエラーメッセージは、次のとおりです。

✔がエラーメッセージが表示される箇所です。

エラーメッセージ	最新情報の ポートレッ ト	レコード一覧 のポートレッ ト	集計表示の ポートレッ ト
カスタムアプリを利用しない設定になっています。		✔	✔
設定されていません。		✔	✔
このカスタムアプリは削除されました。		✔	✔
親フォルダにアクセス権が設定されています。 このアプリは閲覧できません。		✔	✔
		✔	✔

エラーメッセージ	最新情報の ポートレッ ト	レコード一覧 のポートレッ ト	集計表示の ポートレッ ト
このアプリのレコードを閲覧する権限はありません。			
利用可能な絞り込みがありません。		✓	✓
この絞り込みは削除されました。		✓	✓
絞り込みの設定を確認してください。		✓	✓
この絞り込みを閲覧する権限はありません。		✓	✓
利用可能なビュー（一覧）がありません。		✓	
このビュー(一覧)は削除されました。		✓	
このビュー(一覧)を閲覧する権限はありません。		✓	
このソートは削除されました。		✓	
ソートの設定を確認してください。		✓	
利用可能な集計がありません。			✓
この集計は削除されました。			✓
集計の設定を確認してください。			✓

発行日:2025年8月

© Cybozu